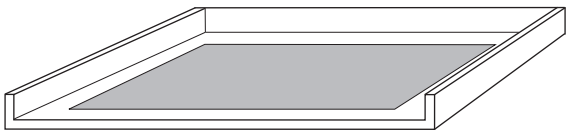
縮尺鉄筋基本セット　取扱説明書

1

汚れてもよい板やトレイなど、平らなものの上に、厚手のビニール、下敷き等のつるつるした素材をおきます。
（汚れてもよいものをご使用下さい。シワがあるとシワがそのまま模様として付きますのでご注意下さい。）

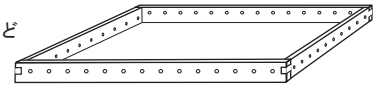
【アイディア】木目の凹凸が出ている平板の表面に油を塗布し、つるつるした素材の代わりに使用しますと、木目模様が表現できます。



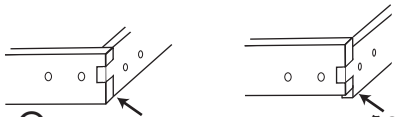
2

枠を組みます。

【コツ】枠の内側に油などを薄く塗っておくと、乾いた後に枠が綺麗にはずれます。

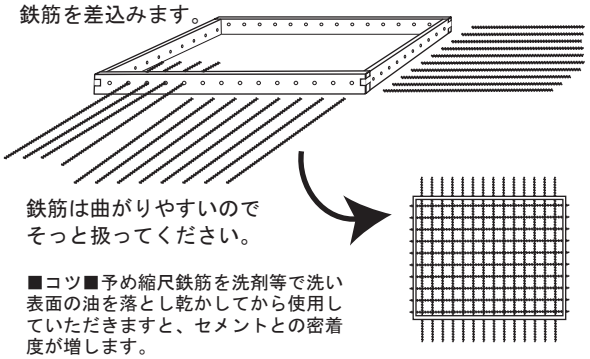


■重要■枠には上下があります。正しく組み合わせることにより鉄筋が適正に交差するようになっています。



3

鉄筋を差込みます。

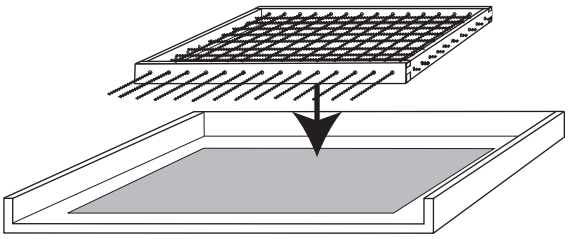


鉄筋は曲がりやすいのでそっと扱ってください。

■コツ■予め縮尺鉄筋を洗剤等で洗い表面の油を落とし乾かしてから使用していただきますと、セメントとの密着度が増します。

4

枠を**1**で用意したトレーに置きます。
その際、鉄筋が動きますので置いてから整えてください。
鉄筋を通したあと、大きめの輪ゴム、セロテープ等で枠同士が離れないように直角に整え固定します。



5

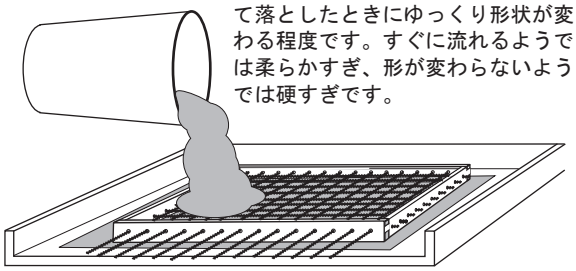
枠の準備ができてから、セメントを練ります。
※セメントが舞い上がりますので保護眼鏡・防塵マスクを着用して下さい。
セメントを容器に入れ、まず９０ｃｃの水を入れ、堅い棒でよく混ぜます。

その後は少しずつ水を足し堅さを調節して下さい。少しの水の量で急激に柔らかくなりますので気を付けて下さい。

※水と混ぜてから10分ほどで硬化が始まります。

6

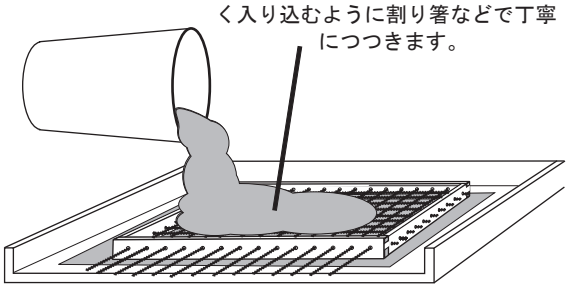
練り上がりの硬さの目安は、すくって落としたときにゆっくり形状が変わる程度です。すぐに流れるようでは柔らかすぎ、形が変わらないようでは硬すぎです。



柔らかすぎると固まったときに表面に砂が粉のように浮いてしまいます。
硬すぎると鉄筋の網目の中に入りきらず、隙間ができます。

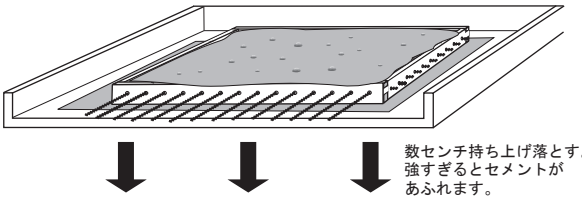
7

鉄筋と鉄筋の間にセメントが隙間無く入り込むように割り箸などで丁寧につつきます。



8

中に入った空気を出します。



表面を軽くならしたら、トレイごと数センチ浮かせて平らなところに落とすか、少しだけゆすって、中に残った空気を浮かせる、泡が出たらつぶす、この作業を何度か続けます。

9

仕上げをします。
中に残った空気が出きったら木枠からはみ出したセメントを割り箸やコテなどで落とし、表面を整えます。

【コツ】少し乾き始めてからもう一度表面を整えるといっそう仕上がりが綺麗です。セメントが柔らかい場合、表面に水が浮いてきます。その場合は、表面にそっとペーパータオルなどをかぶせ、水分を吸収させて取り除き、表面を整え直すと多少は砂が出にくくなります。また、仕上げ後すぐにセメントのついた用具を水洗いして下さい。セメントが固まると取れなくなります。

10

木枠のまま１晩置き、完全に乾いてから、木枠を取ります。

基本セットはこれで出来上がりです。さぁ、次は立体的に鉄筋を組むことに挑戦してみましょう。縮尺鉄筋と専用セメントのばら売りをご利用下さい。

ご注意下さい！

■縮尺鉄筋と専用セメント（粉状）は乾燥した場所に保管して下さい。■水とセメントを混ぜる際は、防塵マスク･保護眼鏡着用して下さい。■セメントを直接手で触らないで下さい。■換気して下さい。■皮膚に触れた場合はすぐに水で洗い流して下さい。痛みがある場合は医師の診察を受けて下さい。■縮尺鉄筋とセメントはお子様の手の届かないところに保管しお子様の手の触れないところで作業・乾燥して下さい。■周囲の妨汚対策を万全にして作業して下さい。■作業後は、顔、手、口等を水洗いして下さい。

製造販売元：株式会社静岡クリエイト　〒422-8005　静岡県静岡市駿河区池田１４４の１　Tel：054-262-8851　Fax：054-262-8852
http:www.shizuoka-create.jp